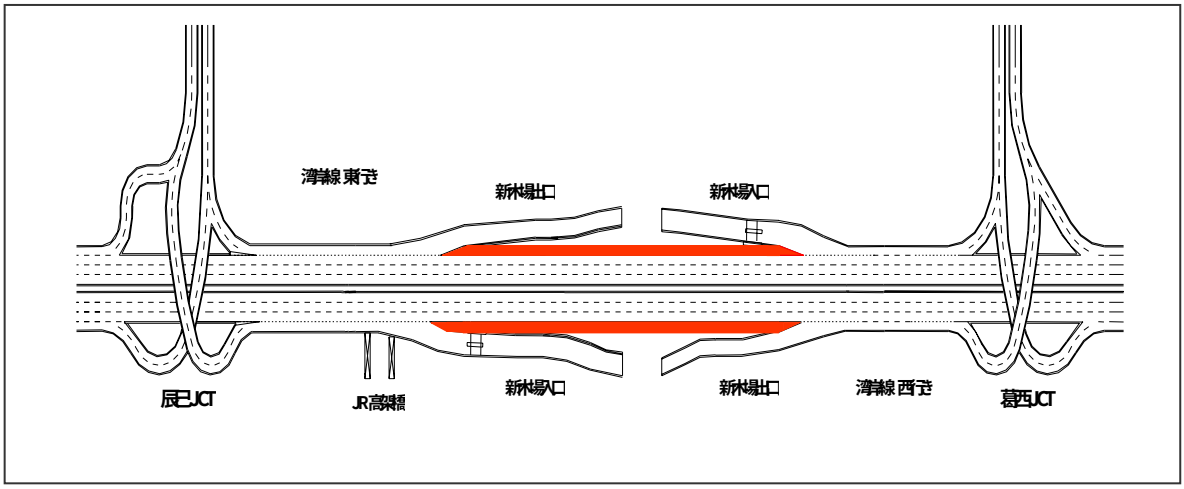
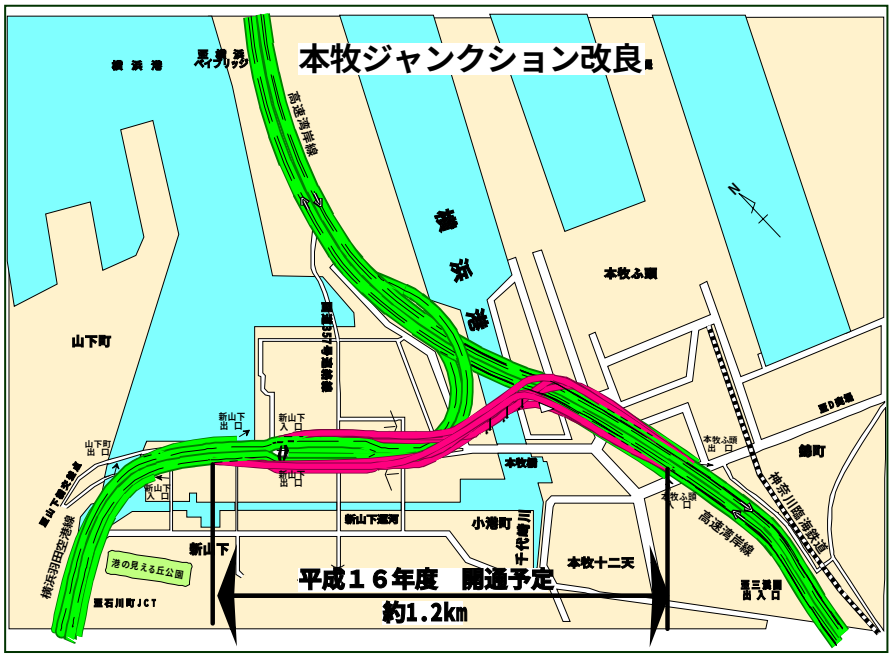
(2)新木場辰巳ジャンクション間改良

湾岸線の新木場付近は、平日平均断面交通量として約 17 万台/日であり、湾岸線全体の中で最大の交通量を有しており、慢性的な渋滞が発生しています。

本改良は、渋滞の原因となっている新木場辰巳 JCT 間で分合流する交通を円滑に処理するため、付加車線を延伸し片側４車線化することにより渋滞の解消を図るものであり、平成 16 年度内に開通を予定しています。



(3)本牧ジャンクション改良

本牧ジャンクションの改良は、みなとみらい地区等の横浜都心部と横浜南部地域との新たなルートを形成し、横浜地区の高速ネットワークを充実させます。これにより、両地域のアクセスが向上し、高速道路の利用がより便利になります。また、国道 16 号等の一般道路の交通がスムーズになります。平成 16 年度内の開通を予定しています。

さらに、本牧ジャンクションの利便性を一層向上させるため、横浜市の街路事業と連携し、横浜都心部に直接アクセスできる石川町出口の整備に着手します。